



ペテロ行

2020年1月1日発行
(毎月1回1日発行)

カトリック谷山教会

891-0113
鹿児島市東谷山2-33-13
TEL 099-268-2084
FAX 099-284-5738

E-Mail: tanigawa-cc@lagoon.ocn.ne.jp URL: <http://www5.ocn.ne.jp/~tycc/>

発行人： 頭島 光 神父 編集委員： 太田勇二郎 岸誠之助 上原敬子 上笠照美

2020年「新しい一歩」のために 主任司祭 トマス頭島光 神父

皆さん、新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひいたします。昨年までの間、私たちは「ともに暮らす家を大切に」をテーマに掲げてきました。本年から「すべての命を守るために～はじめの一歩～」（仮題）としたいのです。いかがでしょうか。昨年11月末に38年ぶりにバチカンから教皇訪日が実現、教皇自ら、様々の課題を私たちに提示されました。一つ一つが私たちの暮らしに直結しています。もはや、いずれも見過ぎてならない大切な問題です。世界が共に暮らすために、なんとか最初の一歩を踏み出すことが求められます。希望をもって歩みたいのです。

◆たった一人のストライキ

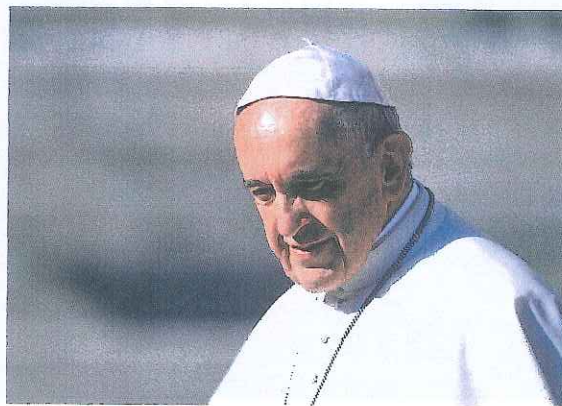
気候変動による環境破壊は2017年以降、更に加速、この年凡そ900万人がそれで亡くなったと言われます。実に、世界の2万人ほどの科学者や研究者たちは「人類は破滅に確実に向かっていて、もはや時間はない」と宣言しています。このような危機的状況を前に16歳の少女グレタ・トゥーンベリさんが立ち上がり、たったひとりで学校ストライキを始めました。2018年8月20日(月)のことです。そのとき、チラシに書いた彼女の最初の一文。「私たち子どもはいつも大人の言うとおりにするわけではありません」と危機感を募らせました。

◆信念の人「小さな巨人」

緒方貞子さんは聖心女子大学の一期生。身長150cmですが、63歳で難民高等弁務官となり防弾チョッキを身に付けて、世界の紛争地域に直接足を運びました。難民キャンプを時下に見て、彼らに寄り添い、生の声を聴いたのです。日本の難民受け入れ態勢に歯がゆさを感じていた彼女にとって国際社会に貢献とは、まず「現地感覚」を持つ事でした。そうでなければ「人を説得することはできない」と言うほど、彼女は「難民たちの命を救うこと」に信念を燃やしていたのです。「自国優先の平和などあり得ない」と豪語する、まさに「小さな巨人」。でもそれが貞子という女性でした。昨年10月22日、神様の御許に旅立たれました。

◆医療から井戸へ

1946年福岡生まれの医師、中村哲さん。1978年に初めてパキスタンに入りました。その時「人に役に立つ」原点を感じたのでしょうか。1984年パキスタン北西部のペシャワールの病院に着任から5年後、アフガニスタンでの医療活動に専念します。そして2000年の大干ばつを機に、中村医師は「医療だけでは人は救えない」と思い、そこから転換して飲料用の井戸1600か所と灌漑用水路の建設に奔走したのです。多数の地下水路を修復、アフガンの砂漠を緑の楽園に変えました。結果、多くの難民たちも戻って来たといわれます。まさに「戦争協力



による国際貢献などは言語道断であり、誰も行かないのなら我等が行く」と言って、丸腰支援を続けた中村医師でした。が、昨年12月4日銃弾に倒れたのです。

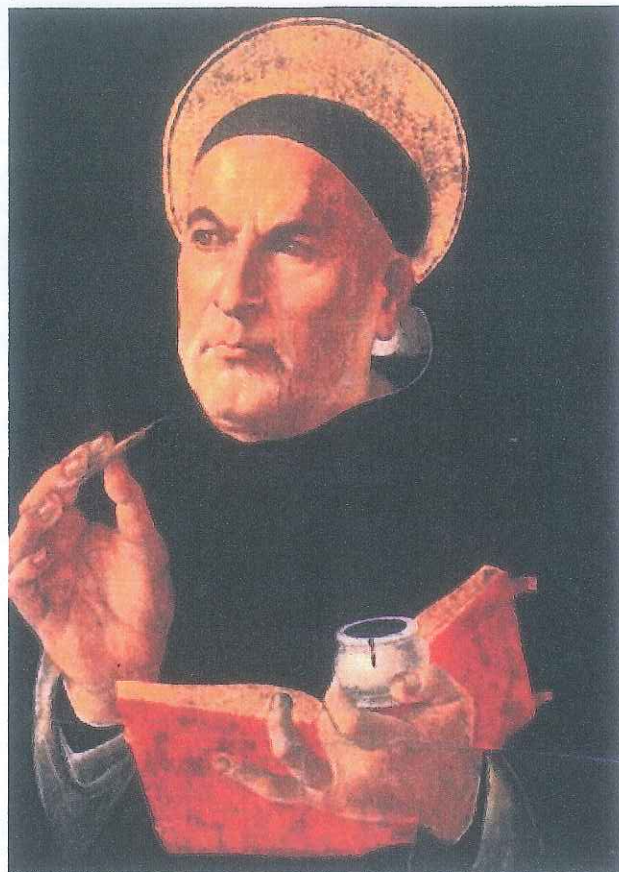
◆はじめの一歩

天に召されたお二人のご冥福を祈りつつも、私たちに何かができるはずで。それは、たとえ小さな一歩であっても、やがて大きなうねりとなるでしょう。グレタさんの気候運動活動が契機となって、ドイツでは二酸化炭素の排出量が多い航空運賃が値上がり、逆に排出量の少ない鉄道料金が値下げになりました。意識を変えるのは時間がかかる。しかし、はじめの一歩を踏み出すのは、「今！」です。

今月の聖人から

トマス・アキナス

1月28日



世にも稀な素晴らしい知性に恵まれたトマスが、ドミニコ会の修道士になることを望んだ時、家族は大反対して、彼を父の居城に15ヶ月も閉じ込めたりしたが、トマスは初志を貫いて入会した。そしてパリとケルンで学び、13世紀の優れた学者たちに出会い、彼自身もパリ大学の有名な講師となった。

トマスは、神が存在し、神は愛であること、神の中に全ての完全さがあることを、人間の鈍い頭でもよく理解できるようにと、努力して多くの書物を書き残した。彼の優れた著作の中でも、特に「神学大全」は不朽の名著として残っている。

トマスは、内気であったが、面白味のない人ではなく、よく笑った。しかし、「大罪を犯した人が（自分の事）どうして微笑などできるか・ 私には理解できない」と書いた。

1274年、彼はリヨン公会議に行く途中で倒れ、帰天した。

典礼一口メモ

典礼が福音そのものを指し示します。その通り、降誕祭のミサ典礼でバチカンでは、教皇様ご自身が写真のように幼子様に接吻しています。クリスマスには家庭でもまた職場でも厩を飾ったりするでしょう。教皇様はイエスの誕生を象徴する厩、飼い葉桶などを飾ることを特別に推奨します。それは人々の間に福音をもたらす切っ掛けとなるからです。典礼は、もはや教会の中だけを飾り立てるものではありません。聖堂から外に向かって、幼子誕生の喜びが光となって輝き出すものです。神様は「すべての人の命を守るために」、今見えるものとなってくださいました。神はもうあなたの近くに住んでおられるのです。



「恵みに生き続けるための闘い」

2019年も終わり、一年間を通して神様の恵みに満たされた日々、与えてくださった多くの良い機会、愛による人々との交わりを神様に感謝致しましょう。新しい年である2020年も、神様が私たちと共にいて、私たちの旅路を励まし導いてくださいますように。そして、主にある平安が、いつも私たちの日常生活の中にあるように、絶え間のない祈りの中で神様の見守りと恵みを願いましょう。神様が私たちの内に働いて、この願いを実現して下さることを信じて、希望をもって新しい年を歩み出すことができる私たちは、なんと幸せでしょうか。今年の初めは、「恵みに生き続けるための闘い」というテーマについて話したいと思います。

信仰生活において、私たちがなすべきことは自分を神様に開け渡し、私たちの命を新しくして下さる神様のエネルギーをしっかりと受けることです。自分の力で何かを達成するのだ、という思いが私たちの中で打ち砕かれ、神様が達成して下さる救いを受ける者となることです。そこに、本当のへりくだりに生きる歩みが与えられていきます。

私たちの信仰は、自分の力で何事かを成し遂げ、立派に生きることではありません。神様の恵みによって生かされること、具体的には主イエスキリストの十字架の死によって罪を赦され、その復活によって永遠の命の約束を与えられて、その恵みに支えられ、慰められ、力づけられて歩むことです。それでは私たちはどうすればよいのでしょうか。

信者として私たちは、それでもうすべてがうまくいったかのように残りの人生を安穩として暮ら

すではありません。そうではない、むしろ、そこから闘いが始まり、続いていきます。奮闘、苦闘が始まるのです。何のための闘いでしょうか。救われた者として生き続けるための闘いです。救いを生き続ける、恵みに生き続けるための闘いです。もちろん、私たちはこの闘いを自分で担いきることはできません。だからこそ主イエスは、この世に来られ、私たちと共におられ、私たちの闘いを闘ってくださり、その主イエスキリストの義による人生の勝利を受け入れることができるのです。

主イエスキリストの恵みによって、私たちは2020年を歩む新しい機会を与えられました。単



に年が明けたというのではなく、信仰面から見れば、私たちにとっての恵みに満たされる機会が新たに与えられたのです。ですから、信仰生活の闘いにおいて、いつも私たちの命を守り、養い、導いてくださる主イエスキリストに頼るように努力しましょう。そうすれば、ともすれば自己中心的な思いから悩み惑う私たちが、主イエスキリストによる救いの恵みに支

えられていることを知らされ、その時、自分の命や生活を自分で守ろうとする思い悩みから私たちは解放されていくでしょう。そして、神様の父としての恵みに自らを委ねて生きる者とされるのです。その信仰によって、神様に信頼して生きる者へと変えられていくでしょう。そして、信仰生活の闘いの中で、神様からの賜物を他の人々に分かち合う上で、神の子供として喜んで生きましょう。なぜなら、私たちは神の恵みを湧き出させ分かち合うための、神様の愛する道具たちなのです。
(ドンボスコ神父)

令和二年 谷山教会 1月の予定と祝日表 (1/1~1/31) 西暦2020年

日時	典礼 と 行事	朗読奉仕	掃除	班会等
1月1日 (水)	祭日 神の母聖マリア 世界平和の日 00:00 元旦ミサ 10:00 新年ミサ 新成人のお祝い			
2日 (木)	記念日 聖パトリック 聖グレゴリオ(ナジアンズ)司教教会博士 6:30 朝ミサ	奉納は掃除当番班が行う		
3日 (金)	イエスのみ心 19:00 初金ミサ			
4日 (土)	19:00 主の公現のミサ			
5日 (日)	9:00 祭日 主の公現 (ミサ中で七草祝い)			
6日 (月)	記念日 聖ヨハネ・ノイマン司教 10:30 レテンポール会日本準管区記念ミサ			
7日 (火)	6:30 朝ミサ 10:30 ひまわり幼稚園 七草祝い			
8日 (水)	19:00 召命ミサ ミサ後 求道者勉強会Ⅲ-9			
9日 (木)	6:30 朝ミサ 18:30 典礼委員会			
10日 (金)	6:30 朝ミサ			
11日 (土)	19:00 主の洗礼のミサ			
12日 (日)	祝日 主の洗礼 6:30&9:00 (ミサの初めに入門式)			
13日 (月)	6:30 朝ミサ			
14日 (火)	6:30 朝ミサ			
15日 (水)	記念日 福者ペトロ・ドンダース司祭 19:00 召命ミサ			
16日 (木)	6:30 朝ミサ			
17日 (金)	記念日 聖アントニオ修道院長 6:30 朝ミサ			
18日 (土)	キリスト教一致祈祷週間 →25日 19:00 年間第2主日のミサ		④	④掃除後教会
19日 (日)	6:30&9:00 年間第2主日			
20日 (月)	6:30 朝ミサ			
21日 (火)	記念日 聖アグネスおとめ殉教者 6:30 朝ミサ			
22日 (水)	19:00 召命ミサ			
23日 (木)	6:30 朝ミサ			
24日 (金)	記念日 聖フランシスコ・サレジオ司教教会博士 6:30 朝ミサ			
25日 (土)	祝日 聖パウロの回心 19:00 年間第3主日のミサ		⑤⑪	⑤⑪掃除後教会
26日 (日)	6:30&9:00 年間第3主日 -世界子ども助け合いの日(献金)- ミサ後 司牧評議会			
27日 (月)	6:30 朝ミサ			
28日 (火)	記念日 聖トマス・アクィナス司教教会博士 6:30 朝ミサ			
29日 (水)	19:00 召命ミサ ミサ後 求道者勉強会Ⅲ-10			
30日 (木)	6:30 朝ミサ			
31日 (金)	記念日 聖ヨハネ・ボスコ司祭 6:30 朝ミサ			

ロザリオの祈り	[毎週(火) 10:00]	7日、14日、21日、28日
レジオ・マリエ	[毎週(水) 14:00]	1日、8日、15日、22日、29日
聖書と教理-I	[毎週(木) 15:00~16:30]	2日、9日、16日、23日、30日
聖体礼拝	[毎週(木) 13:30~14:30]	9日、16日、23日、30日 (2日はザビエルで7:00)
聖書と教理-II	[毎週(金) 9:00~10:00]	3日、10日、17日、24日、31日

令和元年度(2019年) 第8回 司牧評議会の報告

2019.12.1 ミサ後開催

【審議事項】

1. バザーについて (11月10日開催)

1) 収益金 247,490円を6:4で以下のようにチャリティー寄付金と教会補修積立金に分割を了承。

- ・国内の災害支援にカリタスジャパンを通じて約75,000円
- ・貧しくて教育を受けられない世界の子供達への支援寄付金として約75,000円
- ・教会補修積立金に約100,000円

2) バザーの反省、意見

- ・今年は11月開催でザビエル教会と重なったが、暑くも寒くもなくちょうど良い時期だった。
 - ・提供品コーナーで袋を買ったが破れていたとクレームがあった。提供品検品チェックを徹底すること。
- ⇒来年もまた11月開催で実施する。色々な意見を参考により良いものに行きたい。

2. クリスマス準備について(12月の当番班は5.11班です)

1) イルミネーション飾り付けと大掃除・・・12月7日(土) 9:00～

* 駐車は教会庭側に裏側はひまわりのクリスマス会のため空けて下さい。

2) クリスマスプレゼントのお菓子は、昨年同様250袋準備。24、25日 ミサ後茶話会

3) 24日(火) クリスマス聖夜ミサ19:00～

* 係・・・受付、案内はレジオと役員で。駐車係は岸さん、増田さん。他の方もよろしくご協力願います。

3. 1月の行事について(当番班は6.7班です)

1) 元旦10:00のミサで、新成人の祝別。お祝いは、昨年同様、ケーキと茶話会

2) 七草祝いの祝別とお祝いは、昨年同様、ケーキと茶話会

※新成人のお祝い、七草お祝いを希望する方は、神父様、徳永さんまで申し込みをお願いします。

【日程のお知らせ】

12月7日(土) 9:00～ 大掃除、クリスマスイルミネーション他、飾り付け。同日、ひまわり幼稚園クリスマス会

12月8日(日) 14:00～ 市民クリスマス 於:ザビエル教会

12月16日(月) 18:00～ 日独協会クリスマス会

12月24日(火) 19:00～ クリスマス聖夜ミサ/翌25日10:00～クリスマス日中ミサ

12月29日(日) *朝6:30の主日ミサはありません。

2020年元旦 深夜ミサ 00:00～ 神の母聖マリア(「世界平和の日」)のミサ

新年ミサ 10:00～ ミサ中、成人の祝福式を行います。*元旦水曜19:00ミサはありません。

1月3日(金) 19:00～ 初金ミサ

1月5日(日) *朝6:30の主日ミサはありません。

1月7日(火) 10:30～ 七草祝い、教会聖堂にて ひまわり幼稚園の子どもたち

1月8日(水) 19:00～ 水曜ミサの後、求道者勉強会第4シリーズ第8回目

1月19日(日) 14:00～ キリスト教一致日本聖公会教会

1月20日(月)～23日(水)まで、司祭大会inザビエル教区本部

1月26日(日) 9:00～ 主日ミサ後、司牧評議会

【報告事項】【その他】 特になし

(以上話し合われた承されました。)